



令和4年度 町政執行方針

令和4年6月8日、町議会6月会議が開催され、大鷹千秋町長が今年度のまちづくりの指針である町政執行方針を発表しました。

本年3月の町長選挙において、日高町長として2期目の町政運営を担わせていただくことになりました。2期目となる町政執行への私の所信を申し上げ、町民の皆様をはじめ議員各位のご理解とご協力をいただきたいと存じます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により町民生活への影響が長期化する中で、度重なる変異により未だに収束が見通せない状況となっております。そのような中においても感染防止対策やワクチン接種事業をすすめ、ウィズコロナ社会へ対応していかなければなりません。

また、ロシアによるウクライナへの武力侵攻以来、世界経済に様々な影響が出ており、当然に国内経済にも波及しています。最近の諸物価の高騰が顕著な例で、国民生活はもちろんのこと、自治体の運営にも大きな影を落とし始めています。

コロナ禍に加えて経済不安への対処が求められる中で、皆さんと共に益々知恵を絞っていかねばなりません。私はこの知恵を絞る過程を大事にしていきたいと思えます。町の様々な課題に取り組むに当たり、可能な限り町民の皆様にも参画をしていただき、そこで交わされる議論から生ずるエネルギーが町の活性化・町の元気に繋がっていくものと考えます。そして、それをベースに最終的には議員の皆様とさらに知恵を出し合い、第2次日高町総合振興計画の目標である「いきいきと働き、学び、安心と笑顔で暮らせるまち」の実現に取り組んでまいります。



主要政策の推進

◎地域産業の振興

はじめに、第一次産業を取り巻く環境は長引くコロナ禍による国内消費の低迷や国際情勢を背景とした生産資材の高騰など、不可抗力的な事象による影響から以前にも増して厳しい局面が続いております。

農業の振興

水稲や施設野菜などの耕種農業につきましては、引き続き国や北海道の農業政策・補助事業等を活用しながら、生産体制の維持や法人化の取り組みを支援するなど、安定的な農産物の生産と収益向上の支援に努めてまいります。

畜産の振興

酪農・肉用牛につきましては、コロナ禍の影響による飼料の高騰、外食産業を中心とした国内の消費減退が経営を揺さぶる懸念材料となっておりますが、関係機関と連携して消費増大に寄与していくほか、規模拡大や省力化への取り組みに対し、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）等の補助事業を活用しながら安定した生産活動への支援を続けてまいります。

高齢化・後継者対策

農業従事者の高齢化や働き手不足への対策につきましては、東京・札幌等で開催される新規就農者募集イベントへの参加で農業参入を目指す

人材の獲得に努めるほか、地域おこし協力隊の制度を活用し、地域農業の担い手となる新規就農者の育成を図ってまいります。また、軽種馬生産に特化した人材養成事業に対し、町内牧場の働き手不足の一助となるよう側面からの支援を継続するほか、後継者対策につきましては、青年農業者を中心とした婚活イベントの継続実施により、将来のパートナー探しを後押しし、農業後継者の確保に尽力してまいります。



有害鳥獣対策

有害鳥獣対策につきましては、北海道及び日高管内各町と連携したエゾシカ・アライグマ等の有害鳥獣駆除の実施に努め、農林業被害の減少に必要な措置を継続してまいります。

軽種馬産業の振興

軽種馬生産につきましては、オール日高の取り組みとして「強い馬づくりと軽種馬経営の持続的発展に資する馬産地活性化」の要望活動を国など関係各方面に対して継続的に行うなど、主軸となる馬生産振興事業の拡充に努めてまいります。

ホッカイドウ競馬につきましては、令和3年度の開催において、新型コロナウイルス感染症の影響により門別競馬場においても27日間無観客開催となりましたが、発売額は前年比139.1%となり、11年連続で前年度を上回り、ホッカイドウ競馬史上最高額を更新するとともに9年連続の黒字決算見込みとなるなど、好調を維持しております。

さらに「第3回JBC2歳優駿(JpnⅢ)」が盛岡競馬場と連携のもと開催されることが決定いたしました。これを機会に、全国の関係者や競馬ファンに向けた日高町のPRと情報発信を行うとともに、日高管内の基幹産業である軽種馬産業を支える産地競馬としての体制をさらに強化していくために、北海道や関係機関と一体となって、より一層の活性化に努めてまいります。



林業の振興

林業につきましては、日高町森林整備計画に基づき森林の持つ多面的・公益的な機能が充分に発揮されるよう、森林環境譲与税の有効活用を念頭におきながら、町有林におきましては森林環境保全整備事業等による間伐などの保育事業を計画的に実施し、民有林につきましては豊かな森づくり推進事業や日高町森林整備推進事業の促進により、未整備森林所有者へ適確な森林施業の実施を推奨し、森林の適正管理・森林機能の維持保全に努めてまいります。

漁業の振興

水産業につきましては、主要魚種であるサケ・マスの記録的な不漁、コロナ禍での外食需要の減少のほか、昨年9月には北海道では初めてとなる赤潮被害の発生なども懸念材料となり、漁業を取り巻く環境も大変厳しい状況ですが、安定した水産資源の確保と漁業経営の維持のため、ひだか漁業協同組合をはじめとした関係機関と緊密に連携し、水産資源の増殖事業と安定した漁業活動への支援を継続してまいります。

また、ひだか漁業協同組合が事業主体となり、令和元年度着工しました静内対空射撃場周辺漁業用施設設置助成事業を活用した水産物加工施設が令和3年12月に完成し、本年4月から本稼働しており、今後は地域漁業の発展と地場水産品の消費拡大が見込まれ、日高管内唯一の施設として漁業活性化に寄与することを期待しております。

商工業の振興

商工業につきましては、日高町中小企業・小規模企業振興条例を基本に、地域経済の発展に重要な役割を果たしている小規模企業の振興を図るため、新たに創設した経営資金支

援制度を地元企業が有効活用できるよう、日高町商工会と連携し、効果的な運用に努めてまいります。

また、新型コロナウイルス感染症により大きく影響を受けた地域経済につきましては、引き続き国や北海道が行う経済対策の動向を注視し、必要な対策を速やかに講じられるよう努めていくとともに、地域の賑わい創出や地場産品の消費拡大に向けた取り組みを進めてまいります。

観光の振興

観光振興につきましては、新たに設立された日高町観光まちづくり協会と連携し、町の魅力発信や特産品の開発、販売など、町民の皆様と一緒に取り組む事業を展開してまいります。

また、JR日高線跡地を活用して整備しました旧JR日高門別駅舎を新たな観光情報発信の拠点として活用してまいります。

日高山脈襟裳国定公園の国立公園化につきましては、環境省において、国立公園指定に向けた所要の手続きが進められていますが、日高町内での指定エリアの拡大のほか、自然保護官事務所の設置やビジターセンターの整備などを同省並びに関係省庁に要望しているところであり、実現に向けた活動を続けてまいります。

また、指定後には国立公園としてのネームバリューを最大限活用し、日高沙流川オートキャンプ場、日高国際スキー場、沙流川温泉ひだか高原荘などの町有施設の利用促進に結びつけるほか、国立日高青少年自然の家との連携を一層強固にし、町活性化に繋がる観光振興事業に取り組んでまいります。

◎生活環境の整備

地域公共交通の整備

地域の公共交通につきましては、